



社会科

札幌市教育委員会の課題

をやってみよう！

5月18日（月）～22日（金）

今週の課題

地域によって気候に違いが出てくるのはなぜだろう？そして気候帯はどのように分布しているのだろうか？

step 1

「気候」や「気候帯」って何のこと？

今日は「気候」と「気候帯」についての学習です。今回もまず学習に必要なことばの意味から確認していきましょう。

気候 …その土地の気温・晴雨・湿度などの一般的状態
気候帯…同じような気候の特色をもつ地域の広がり

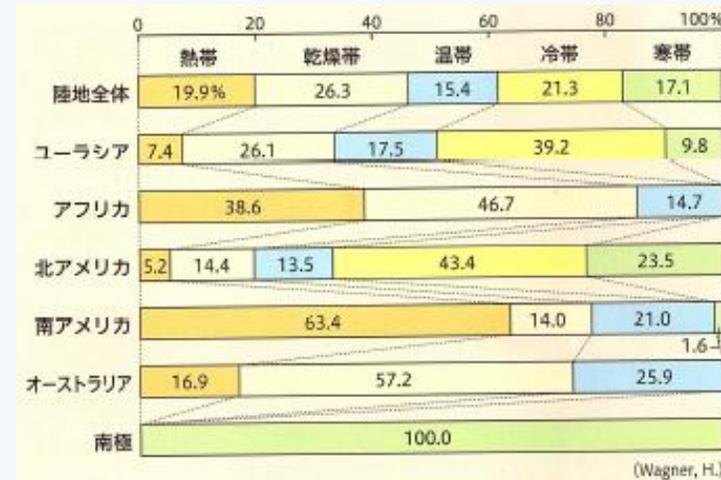
気候は気温や雨の降り方など、なんとなくイメージがもてますよね。でも、「気候帯」ということばをはじめて聞く人もいるかもしれません。まずは「気候帯」についての学習からはじめてみましょう。



step 2

気候帯の分布を世界地図で見よう！

教科書の28ページと25ページを見ながら、気候帯について気づいたことを整理してみましょう。



やってみよう

() に当てはまることばを埋めながらノートや取組シートに書き写そう。

- ① 赤道のあたりに () 帯に多く見られる。
 - ② 北と南の方に () 帯と () 帯が広がっている。
 - ③ 乾燥帯は南北の () 線の近くに広がっている。
 - ④ 地球の陸地全体では () 帯の割合が最も多く () %を占めている。
 - ⑤ 南アメリカは大部分が () 帯である。
- ※ このほかにも、自分で気づいたことを書き出してみましょう。

step 3

気候帯の特徴を整理してみよう！

教科書の26ページから35ページを読んで、それぞれの気候帯の特徴をまとめてみましょう。



やってみよう

気候帯	含まれる気候	気候帯の特徴	その気候帯の地域の特徴
熱帯	熱帯雨林気候 () 気候	<ul style="list-style-type: none"> ・ () を挟んで、南回帰線と北回帰線の間を中心に広がる。 ・一年を通して気温が高く、季節による変化が () 。 ・一年間の気温差よりも、() の昼と夜の気温差の方が大きい。 ・一年中雨が多く、午後から () が降る。 ・回帰線に近づくとつれて雨季と乾季が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤道付近には () 林が見られる。 ・熱帯雨林は生物種の宝庫となっている。 ・乾季がある地域では短い木の生えた () が広がる。 ・熱帯では () が高い家が見られる。
乾燥帯	() 気候 () 気候	<ul style="list-style-type: none"> ・赤道より緯度が () い地域に広がっている。 ・降水量が () く、雨が降らない () 季の期間が長い。 ・雨は一年を通じてほとんど () 。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ () では植物が育ち農業が行われている。 ・ () では遊牧が行われている。 ・アラビア半島や北アフリカでは () が見られる。
温帯	() 気候 () 気候 () 気候	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度 () 度以上の地域を中心に広がっている。 ・温暖で () の変化がはっきりしている。 ・大陸の東側は () 風の影響を受ける。(夏や高温で蒸し暑く、冬は低温となる) ・北半球の大陸西側で緯度の高い地域は暖流 () 西風の影響を受ける。(気温も降水量も変化が () い) ・大陸の西側で緯度の低い地域では夏に () し冬に降水量が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシア大陸の東側では () が行われている。 ・ヨーロッパの高緯度地域では () が行われる。 ・地中海沿岸の地域ではオリーブや () などが栽培されている。 ・地中海沿岸では壁に () をめった白い壁の家が見られる。
冷帯	冷帯 (亜寒帯) 気候	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯より高緯度側や内陸側に広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マツやモミなどの針葉樹林 = () が広がる。 ・寒帯では凍った地面が短い夏の期間だけ解けて、コケ類や草などの植物が生える () が広がる。
寒帯	() 気候 () 気候		<ul style="list-style-type: none"> ・緯度の高い地域では、一日中太陽が沈まない () やオーロラが見られる。 ・凍った土 = () が広がっている。

※地図帳の11・12ページも参考にしてみましょう。「サバナ」や「ステップ」などの一つ一つのことばの意味も確認しましょう。

※ノートや取組シートに自分で表を書いてまとめましょう。(ここに書いていること以外の特徴も調べてみましょう。)

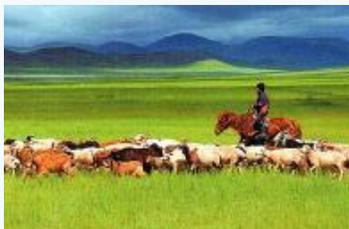
step 3

気候帯の特徴を整理してみよう！



下の例にならって、それぞれの写真がどの気候帯（気候）なのか、そのように考えた理由（根拠）をはっきりさせて書いてみましょう。（気候帯・気候についてまとめた表や教科書を参考に考えてみましょう。）

やってみよう



(例)

○気候帯：乾燥帯

○そう考えた理由：短い草が生えている草原（ステップ）で家畜をつれているので、遊牧をしている様子だと思ったから。



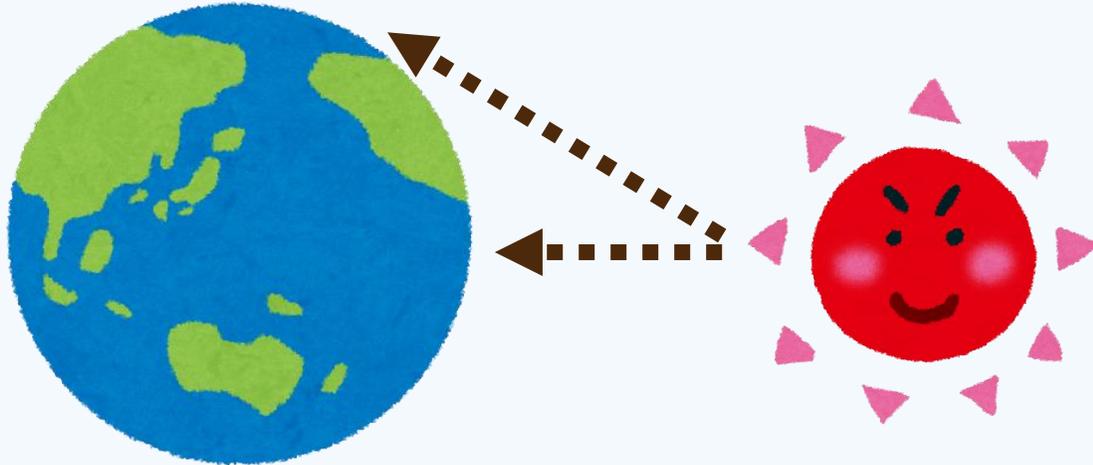
step 3

気候帯の特徴を整理してみよう！



地球上にはさまざまな気候帯が見られることが分かりましたね。では、なぜこのような気候帯が見られるのかわかりますか？「太陽から受ける熱の量」ということばを使って説明してみましょう。

この図を見ると赤道近くに熱帯が広がり、北極や南極に向かって冷帯や寒帯の地域が見られる理由がわかりますね！



やってみよう

地球上でさまざまな気候帯が見られる（自然や気候の違いがある）のはため。

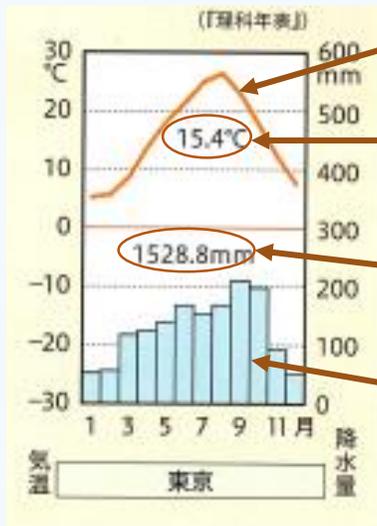
step 4

気温と降水量のグラフ（雨温図）を読み取ろう



身に付けよう

「熱帯は暑い」といっても、そこに住む人にとっては普通かもしれません。それぞれの地域の気候の様子を比べてみるために、気温と降水量のグラフ（雨温図）を読み取る力を身に付けましょう。



折れ線グラフ
1年間の気温の変化

年平均気温 (1年間の気温の平均)

年間降水量 (1年間の降水量の合計)

棒グラフ
それぞれの月の降水量の合計

このグラフから東京の1年間の降水量は () mm、年間の平均気温は () °Cとわかりますね。また、() に暑くて降水量が () く、冬には気温が下がることがわかり、季節の変化がはっきりしているという特徴が読み取れますね。



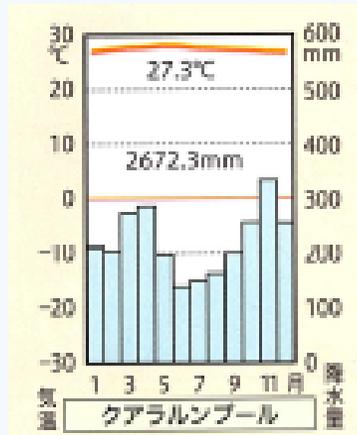
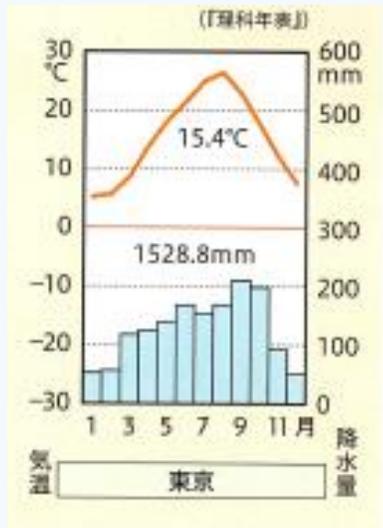
step 4

気温と降水量のグラフ（雨温図）を読み取ろう



やってみよう

東京とマレーシアのクアラルンプールの気候を比べてみると、どのようなことが言えるか、グラフの読み取りの練習をしてみましょう。



- ① 東京は（ ）の変化があるが、クアラルンプールは一年中（ ）が高く、（ ）の変化がほとんどない。
- ② クアラルンプールは東京都比べると一年中降水量が（ ）い。



考察（①、②から考えたこと）

- 一年中高温で降水量も多いので、クアラルンプールは（ ）帯の地域だと思った。
- 気温が高くて暑いので、風通しを良くするために（ ）を高めた住居に住んでいるんだと思う。



地図帳の11・12ページを見て、いろいろな気候の地域のグラフを比較して、特徴をとらえてみましょう。

step 5

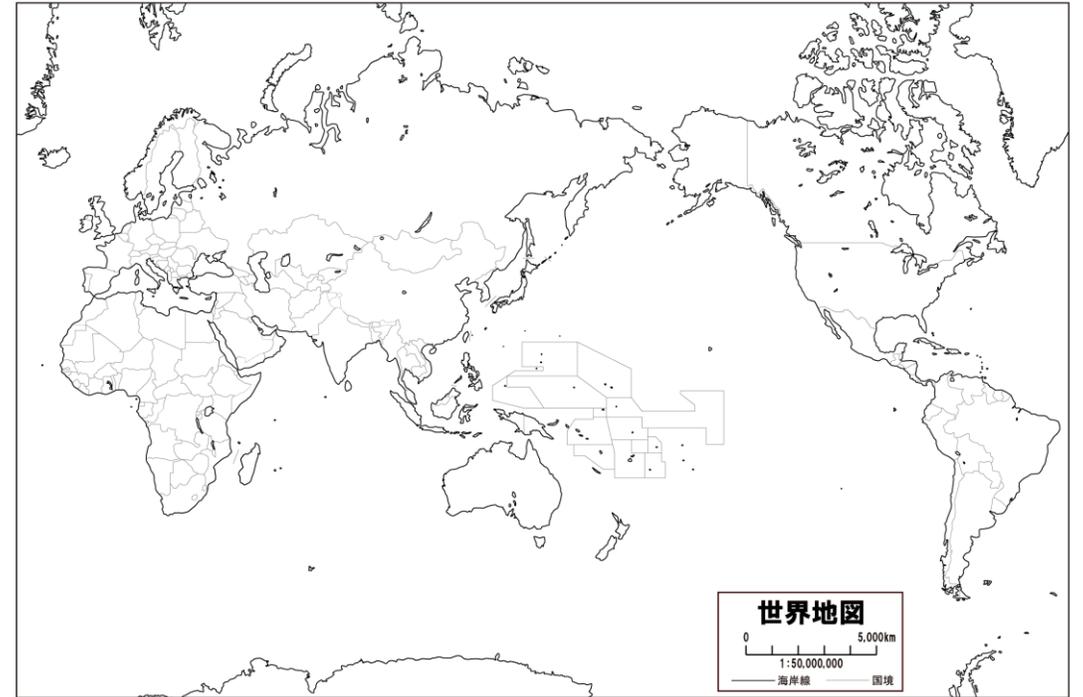
今日の学習のまとめ



世界の気候帯や気候について、今日の学習でわかったことを地図に書き込んでまとめましょう。

やってみよう

- ① ノートや取組シートに右のような地図を書きましょう。
(国境線は書かなくて構いません。)
- ② 教科書23ページや地図帳11・12ページを見て、気候を塗り分けてみましょう。
- ③ それぞれの気候の特徴やその気候の地域の特徴など、今日の学習でわかったことを書き込みましょう。
- ④ 教科書や地図帳を見ながらさらに地図に書き込み、「この1枚で世界の気候と特色がわかる地図」を完成させましょう。



こちらのサイトから無料で白地図がダウンロードできます。

- ▶ <https://www.freemap.jp/itemFreeDIPage.php?b=world&s=world1>
- ▶ <https://happyilac.net/sy-sekaitizu-s3.html>

step 5

今日の学習のまとめ



最後に、今日の学習の感想や「わかったこと」「気づいたこと」「考えたこと」「疑問に思ったこと」などを書いて、学習のまとめをしましょう。感想が書けたら自己評価をして今回の課題学習は終わりです。よく頑張りました！

<自己評価>

- [A] 自分から進んで学習を頑張って、よく理解できた。
- [B] 頑張って理解できたけれど、まだわからないところもあった。
- [C] あまり頑張れなかった。全然理解できなかった。



今回の課題学習の自己評価は・・・

ノートや取組シートに自己評価を書いておこう！わからなかったところは学校再開後の授業で確認したり、先生に質問したりして、わからないままにしないようにしましょう！



ちよいたし学習



教科書34・35ページで標高の高い地域の人々の生活も学習してみましよう。また、世界のいろいろな地域に興味をもった人は、世界の人々の生活と環境について、次の動画を見てみましよう。

▼このサイトで動画を見ることができます。

http://www.nhk.or.jp/syakai/10min_tiri/?das_id=D0005120452_00000